

AI×ファシリテーション

(特非) 日本ファシリテーション協会 (通称: FAJ) 中部支部の一員として、毎年、「AI×ファシリテーション」として名古屋工業大学の白松先生と定例会を開催しています。毎年、進歩しているAI (artificial intelligence) にファシリテーションがどんなところでコラボできるのか? という楽しみな定例会です。

☆AIとファシリテーション

FAJ がお手伝いしている AI×ファシリテーションには大きく2つの流れがあります。一つは、AI がファシリテーターをするというのを目指して、オンライン上のディスカッションを支援するというものです。

もう一つは、誰がどのくらいの時間、話しているのか? 他の人への影響度は? を可視化できるシステムが開発されており、それを活用して AI、ファシリテーションとコラボしていくのかというものです。この中にもさまざまな分野があるのですが…

一昨年の FAJ のイベント (ファシリテーション・サミット大阪) でも、音声認識システムとファシリテーションをオンラインで実演しながら、ファシリテーターのみなさんと体験、考察をしていただきました。その後、いくつかの支部でも体験していただき、反応が大きかったことを痛感しました。

☆今回は

今回は、GTP-3 という高精度の言語モデルとハイラブル社さんの通称「たまご」のコンビを活用しました。人間ファシリテーターが描く付箋や模造紙と「たまご」から音声を認識し、GTP-3 で次の言葉を予想しながら PC 上に出力される文を比べるということをしました。

私たち FAJ は、普通にグループワークをすればよく、データは白松研究室で分析してくださいます。どんな結果になったのか? 楽しみです

☆AI×ファシリテーションのこれから

お手伝いしているもう一つの流れがあります。それは、オンライン上でのディスカッションを AI がファシリテートするというものです。その開発に携わっている先生によると「民主主義の実現」のために研究していらっしゃるとのことでした。



<https://www.hylable.com/products/>より

ファシリテーションは、KJ 法の開発者: 川喜多二郎さんも民主主義の実現のためにあるとおっしゃっています。AI とファシリテーションとは相性がいいのかもしれませんが。

*AI ファシリテーターが進化しているのを見ると、私たちのファシリテーション・スキルがお役にたっているのだということが目に見えます。なかなか可視化できないファシリテーションであり、ファシリテーターとしての成長なので、とっても貴重な機会です。感謝です。